

# 安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



## 注 11月の重篤事故7件注

### 令和6年11月（令和6年度）事故速報

#### (1) 重篤事故

11月は、7件の重篤事故の報告がありました。

11月までの累計で見ると、令和5年度の19件と比して令和6年度は23件と4件の増加となっています。また、就業中・就業途上別にみると、就業中の事故、就業途上ともに、前年度と比して2件の増加となりました。

累計23件の内訳は、就業中は、剪定等4件 草刈2件、清掃4件 その他4件 就業途上は、自転車7件、バイク1件、自動車1件です。

#### 11月報告分までの累計

令和6年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和5年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	14(5)	12(4)	2(1)	12(5)	2(0)	就業中	12	9	3	11	1	
就業途上	9(2)	8(2)	1(0)	6(1)	3(1)	就業途上	7	3	4	2	5	
計	23(7)	20(6)	3(1)	18(6)	5(1)	計	19	12	7	13	6	

( )は、当月分報告分

#### 11月報告分内容

No.	性別等	区分等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
17	女 84歳	途上 (死亡)	夕方、県道で自転車を押し横断していたら、オートバイにはねられ2時間後に亡くなられた。	○	—	自転車
18	男 81歳	途上 (死亡)	自転車で就業途上に信号機のない交差点を南進し横断中、東進する乗用車にはねられ、頭などを強く打ち、病院に搬送されたが、約3時間半後に亡くなられた。	×	—	自転車

## 1 1月報告分内容

No.	性別等	区分等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
19	男 78歳	就業中 (死亡)	<p>収穫ビートを製糖工場に運搬する業務で、畑の収集ビート山からこぼれたビートをスコップで、かき上げる等の作業を請けました。事故は、一日3～4台程の運搬トレーラー積込み時に、ショベル(運転手)からトレーラー(運転手)に伝票を渡す中継作業の際に、ショベルの作業動線内に入ってしまった、バックしたショベルに轢かれた。作業は、早朝5時頃から開始し、事故は、5時30分頃に発生した。作業実施に対し、黄色ジャンパーを着用し、<b>ショベル前方の収集ビート山の裾(すそ)での作業が基本であった。</b></p> <p>また、定年退職前の職業は、プロドライバーで、重機周辺での作業について、高い知識と深い経験を持っていたが、<b>ショベルに近づきすぎたことも事故の要因</b>と考えられる。</p>	○	×	—
20	男 78歳	就業中 (入院)	<p>会員が<b>ほうきとチリトリを持って</b>2階から掃き掃除しながら階段を降りていたときに転倒し床で左側頭部を打ち付け、外傷性脳内出血。</p>	—	—	—
21	男 73歳	就業中 (死亡)	<p>伐採作業をしていたところ、当該樹木の作業箇所上部が自重で裂け、<b>想定していなかった当該会員の方向へ倒れ</b>亡くなられた。</p>	×	—	—
22	男 75歳	就業中 (死亡)	<p>ドンという音を聞いた除草作業中の会員が、意識の無い状態で倒れている会員を発見し、救急搬送。会員は、高さ2.5m位の低木を、6尺の3点梯子を使ってヘッジトリマーで作業。<b>転落した瞬間の目撃者がいない</b>為、あくまで推測ですが、低木剪定個所の進み具合・トリマーが止めてあったことから仕事を中断、梯子を下りかけた時に落下したと思われます。比較的低い高さでヘルメットも着用していたにも関わらず、損傷の具合が大きかったのは、受け身の取れない仰向けで倒れたからと思われる。</p>	○	—	—
23	男 71歳	就業中 (死亡)	<p>物置小屋解体作業中に、当該建物を倒壊させるためロープで引っ張り、その際に転倒し、コンクリート土間に左側頭部を強打した。その後救急車で市民病院に搬送。本来2名にて作業予定であったが当日は<b>当該会員1名で作業しており、またヘルメットの着用もしていなかった。</b></p>	×	—	—